

ベビーカー

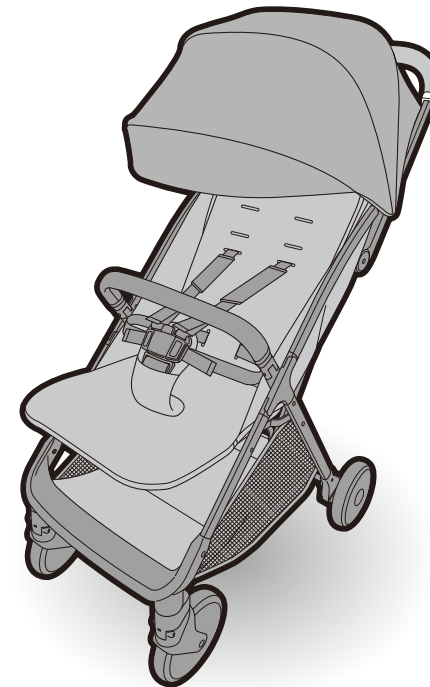
ヴィット

取扱説明書／保証書

このたびは、アプリーカ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

この製品はひとり座りができる生後6カ月[※]～48カ月(体重22kg)までの乳幼児1人用ベビーカーです。

[※]ここでいう生後6カ月とは、出生時に体重2.5kg以上かつ在胎週数37週以上を満たし、6カ月を経過した乳児を指します。
この条件を満たさないお子さまへのご使用については医師にご相談ください。



・本書に使用しているイラストは、操作方法や仕組みなどを分かりやすくするため、実物とは多少異なる場合があります。
・本書の内容について、誤りや記載もれなどお気づきの点がございましたら、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。
・製品の品質向上のため、予告なしに一部仕様変更する場合がありますので、あしからずご了承ください。

ニューウェルブランズ・ジャパン合同会社

〒108-0023 東京都港区芝浦4-9-25 芝浦スクエアビル
ベビー事業部 お客様サポートセンター TEL 0120-415-814 携帯電話からご利用の場合(通話料お客様負担) TEL 0570-004-155

ご使用前に、取扱説明書(本書)をよくお読みのうえ正しくお使いください。
お読みになった後は、本書はいつも取り出せる場所に必ず保管してください。
本書に記載されている以外の方法で使用しないでください。製品の機能が充分発揮できないだけでなく大変危険です。

もくじ

はじめに

ご使用前に	1
製品の特徴／本書の表示について	
ご使用上の注意	2
警告／注意	
製品を取り出した時に	5
各部の名称	6

ベビーカーの使用方法

ベビーカーの組み立て方(箱から取り出した時)	7
ベビーカーの開き方	9
ストッパーの使い方	11
足のせサポートの使い方	11
フロントガードの使い方	12
カゴの使い方	12
肩ベルトの高さ調節	13
シートベルトの使い方	14
お子さまの乗せ方	15
リクライニングの角度調節	17
日除けの使い方	18
シートライナー(別売)の使い方	18
ベビーカーの折りたたみ方	19

その他

日常のお手入れ	21
点検について	22
保管について	23
廃棄について	23
SGマーク制度について	23
困った時	24
保証とアフターサービスについて	25
保証書	26

ご使用前に

この製品は一般家庭を対象として、乳幼児を乗せ、外気浴、買物などに使用する1人乗り用のベビーカーです。

使用範囲	ひとり座りができる生後6カ月 [*] ～48カ月(体重22kg)まで <ul style="list-style-type: none"> 最大使用は、お子さまが生後48カ月もしくは体重22kgのどちらか早い方に達するまでとなります。 お子さまの体重が18kgを超えて22kgまでのご使用については、SGマーク制度の適用対象外になります。(SGマーク制度についてはP23参照)
適合基準	SG基準B形
望ましい連続使用時間	座らせた姿勢:1時間以内

^{*}ここでいう生後6カ月とは、出生時に体重2.5kg以上かつ在胎週数37週以上を満たし、6カ月を経過した乳児を指します。この条件を満たさないお子さまへのご使用については医師にご相談ください。

安全、快適にお使いいただくために

- ベビーカーの連続使用、長時間使用は避けましょう。
- お子さまに直射日光が当たらないように配慮しましょう。
- 騒音や粉じんの多い人混みはなるべく避けましょう。
- 振動や衝撃のかかりやすい段差や道路はできるだけ避けましょう。





製品の特徴

- ハンドル：背面側固定式
- カゴ耐荷重：5kg
- シートベルト：マグネットバックルを使用

※本製品はチャイルドシートの取り付けには対応していません。

本書の表示について

「警告」、「注意」の表示は、これらの注意事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度の大きさにより区分したもので、大変重要な内容です。必ずお守りください。

表示	表示の内容
 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。
禁止図記号	表示の意味
	製品の取り扱いにおいて、その行為を禁止しています。
	製品の取り扱いで知っておくと便利な内容です。

ご使用上の注意

・思わぬ事故につながるおそれがありますので、ご使用前に必ず取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

 警告 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。	
<p>お子さまが落ちるおそれがあります。</p> <p>シートベルト(肩ベルト、腰ベルト、股ベルト)を外して使用しない。</p> 	<p>お子さまが落ちたり、お子さまの首にシートベルトが巻き付き窒息するおそれがあります。</p> <p>シートベルトは必ず正しく装着し、お子さまに合わせて長さを調節すること。</p> 
<p>ベビーカーの中でお子さまを立たせない。</p> 	<p>バランスを崩したり、足下が見えなくて転倒するおそれがあります。</p> <p>お子さまを乗せたまま持ち上げない。</p> 
<p>お子さまが立ち上がって落ちたりするおそれや、予期せぬ行動が思わぬ事故につながるおそれがあります。</p> <p>シートベルトを締めていても、お子さまから目を離さない。</p> 	<p>坂道などでベビーカーが勝手に走行、転倒するおそれがあります。</p> <p>お子さまを乗せる時や降ろす時は必ずストッパーをロックし、ベビーカーが動かないことを確認する。</p> 
<p>路面の溝にベビーカーの車輪がはまり、前のめりになるなどしてバランスがくずれベビーカーや使用者が転倒するおそれがあります。</p> <p>排水溝の格子状のふた(グレーチング)や踏切など、幅の広い溝がある路面を通過する必要がある時は、溝に車輪がはまる場合があるので、注意しながらゆっくり押すこと。</p> 	<p>お子さまや荷物をのせた時には、ストッパーを過信しない。路面の状態、構造の機能上、耐久性などから、絶対的に動かないようにできるものではありません。</p> 
<p>車輪がはまった時は、前フレーム(パイプ)とハンドルを持って、はまった車輪を引き上げてください。その際はベビーカー全体を持ち上げないでください。</p> 	<p>お子さまを乗せたままベビーカーを離れない。</p> 

〈次ページに続く〉

警告 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

ベビーカーが転倒するおそれがあります。

二人以上のお子さまを同時に乗せたり、シート以外のところに乗せない。



ベビーカーが折りたたまれ、お子さまが落ちたり、挟まれるおそれがあります。

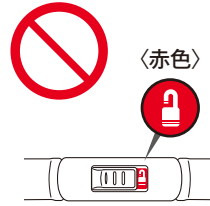
ご使用時は、ハンドルを上下に動かし、フレームが折りたたまれないことを確認する。



階段やエスカレーターなど大きな段差のあるところで使用しない。



ベビーカー使用中はハンドルレバーとハンドルロックを握らない。必ずハンドル部に青色が表示された状態でベビーカーを走行させること。



ベビーカーを使用中は走らない。



路面の影響も加わって、ベビーカー内の温度が高くなるおそれがあります。

気温が高い時や日ざしが強い時は、長時間使用しない。



ベビーカーが後方転倒するおそれがあります。

カゴ以外のところに荷物を載せたり、ハンドルにつるしたりしない。また、ハンドルによりかかたりしない。



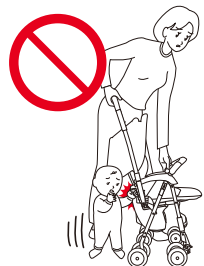
ベビーカーが破損し、ベビーカーや使用者が転倒するおそれがあります。

ハンドルに過度の荷重をかけない。



可動部でお子さまの指や手足を挟んだり、ベビーカーが身体にぶつかるおそれがあります。

開閉操作は、お子さまが接触した状態や近くにいる時には行わない。



フロントガードを閉じる時は、お子さまの指や手足を挟まないように注意すること。



警告 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

ベビーカーが破損し事故やけがにつながったり、思わぬ事故の原因になるおそれがあります。

- ・お子さまにベビーカーを操作させない。
- ・お子さまの股間を股ベルトの位置に合わせて乗せること。頭側に寄りすぎるとベビーカーが後方に転倒するおそれがあります。
- ・弊社サービス員以外はネジやナットなどの部品を取り外したり、分解・組立・改造をしない。
- ・出荷時に取り付けられている部品、および弊社指定の部品または製品以外は使用しない。

- ・急激に力を加えたり、落下、投げ投げなどによる強い衝撃が加わった後に使用しない。
- ・お子さまの遊び道具として使用しない。
- ・電車などのご利用時には、無理な乗り降りもしない。ベビーカーが電車などの自動ドアにはさまれても感知されない場合があり、大変危険です。

注意 誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

- ・必ず定期的に点検とメンテナンスを行ってください。(点検についてはP22を参照ください。)
- ・ご使用前に、ベビーカー本体に前輪、後輪が正しく取り付けられていることを確認してください。
- ・ご使用前に、シート縫製品の固定部(ゴムやベルト)が外れていないか確認してください。(P22参照)
- ・長期間ご使用されていなかったベビーカーを再度ご使用になる場合には、必ず点検とメンテナンスを行ってください。
- ・空車であっても、坂の途中や車道に近い歩道など、危険な場所にベビーカーを放置しない。
- ・ネジやナットなどがゆるんだ状態で使用しない。
- ・2台のベビーカーを連結して使用しない。
- ・前輪を持ち上げた状態で走行しない。後フレームの曲りや折れの原因になります。
- ・ベビーカーにお子さまを乗せて走行するときは、お子さまのために普通の歩き方(時速約4キロメートル位の速さ)で押す。
- ・ベビーカーを砂場や泥水のあるところで走行させない。砂などが入り車輪やキャストがスムーズに回らなくなる原因となります。
- ・フレームに砂や泥の汚れをつけたままで使用しない。スライド部に砂などが入り開閉できなくなります。
- ・ベビーカー本体にはお子さまを乗せることを目的とした市販のボードなどは取り付けしないでください。破損の原因となります。
- ・カゴに重量5kg以上の荷物を入れない。
- ・保護者、介添者などが、ベビーカーに腰掛けない。

- ・荷物などの運搬のために使用しない。
- ・その他、お子さまを乗せる以外の目的で使用しない。
- ・本製品は、電車やバスの中で使用することを目的として設計されたものではありません。お客様の責任により、本製品を電車やバスの中で使用する時は、カーブや急ブレーキなどで転倒するなどのおそれがありますので、必ずお子さまに肩と腰のシートベルトを装着の上、ストッパーをかけ、ベビーカーから手を離さず充分注意してご使用ください。乗り降り時には、電車とホームとの段差や隙間、バスと路面との段差に充分注意して乗り降りしてください。また、事前にご利用の公共交通機関に利用の可否、使用方法をご確認ください。ご利用条件を満たさない時は、ご使用になれません。なお、ご利用条件を満たす場合でも、電車またはバス内でベビーカーを使用した際の安全を保証するものではありません。
- ・雪が積もった所や、凍結した路面では使用しない。
- ・風の強い時は使用しない。
- ・雷の時は使用しない。
- ・室内、火気の近く、高温になる場所ではレインカバーなどを使用しないでください。ベビーカー内部の温度が高くなりすぎるおそれがあります。
- ・火の近くに置いたり、炎天下で高温になる車中に放置しない。プラスチック部品が変形し、性能を維持できなくなります。
- ・その他、ベビーカーの故障の原因となるようなことはしない。

・段差を無理に乗り越えようとししないでください。破損や故障の原因となります。

〈段差の乗り越え方〉

ハンドルを押し下げ、同時に前脚パイプを引き上げて乗り越えてください。

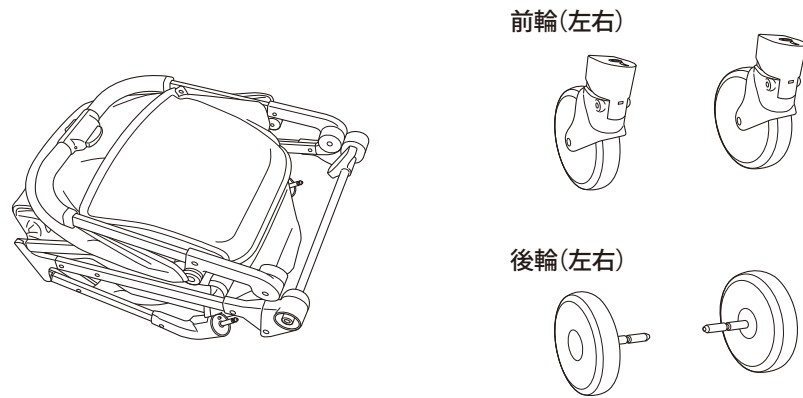


製品を取り出した時に

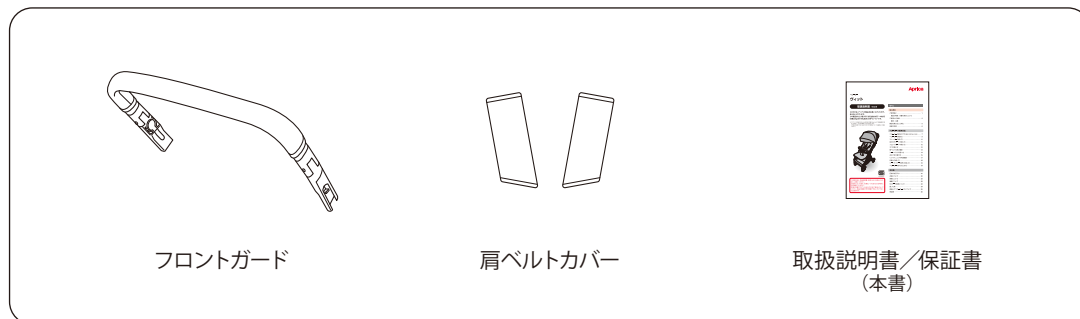
- ・製品を取り出した後は、部品がそろっているか、破損がないかを確認してください。
- ・欠品や破損の際は、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。(P25参照)
- ・ご使用前に、P26「保証書」に次の項目をご記入ください。
 - ①品番、ロット番号(P6「各部の名称」参照)
 - ②購入日
 - ③お客様のお名前、住所、電話番号
 - ④販売店名
- ・レシート(領収書)を本書と一緒に保管してください。(P25参照)

本体

- ・箱から取り出した時は折りたたんだ状態、前輪、後輪、フロントガードが取り外された状態になっています。前輪と後輪すべてを本体に正しく取り付けてから、使用を開始してください。
- ・ベビーカーの組み立て方はP7を参照ください。
- ・組み立てに器具、工具は必要ありません。

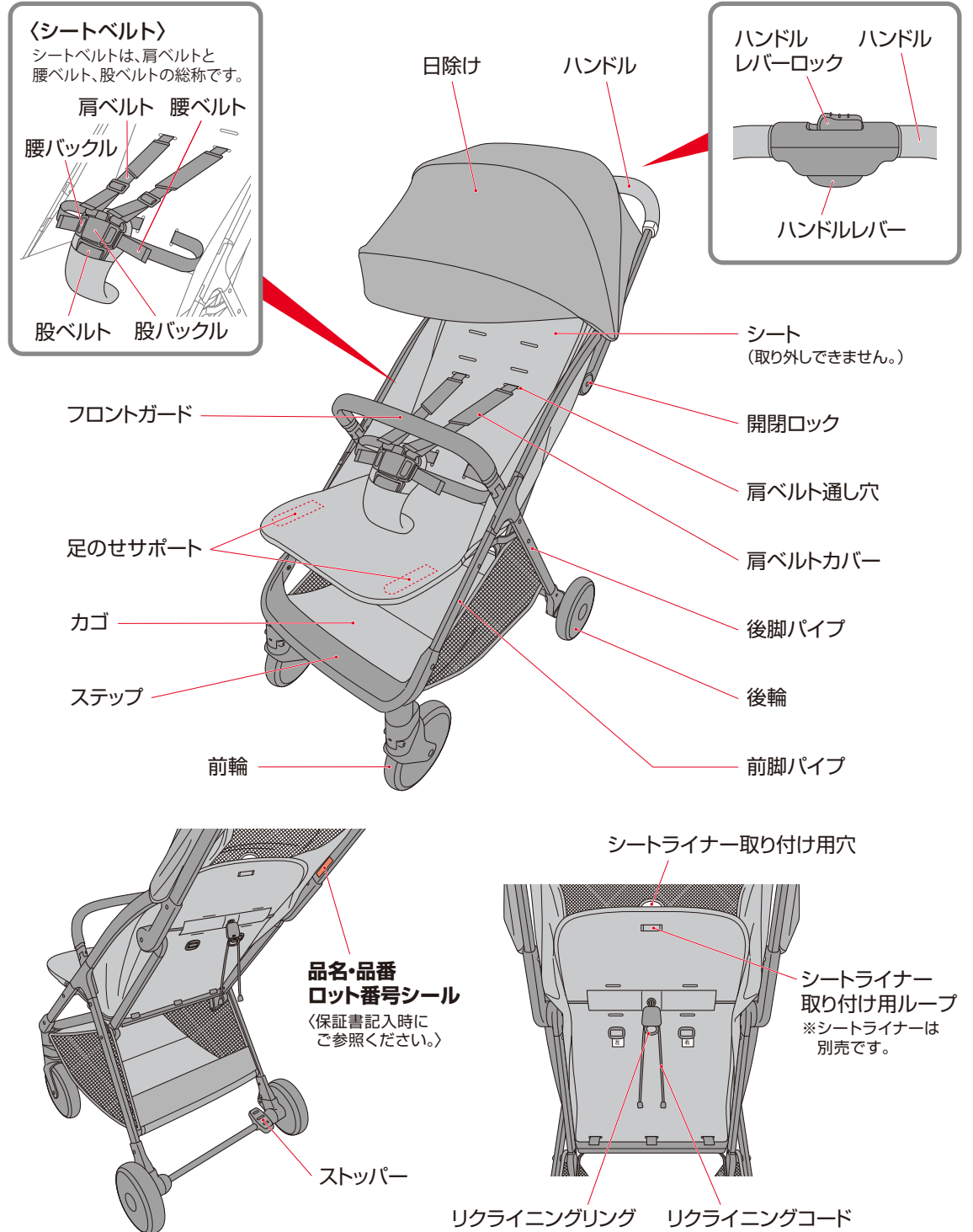


付属品



・製品が入っていた箱、梱包部材、ポリ袋をお子さまの手の届く所に放置しない。お子さまがかぶったりして窒息するおそれがあります。

各部の名称



注意 ・シートライナー取り付け用ループは別売のシートライナー使用時に使用します。シートライナーを使用しない時、ループに荷物などをかけないでください。

ベビーカーの組み立て方(箱から取り出した時)



・組み立てや開閉操作は必ず大人が行い、お子さまが接触した状態や近くにいる時には行わない。
可動部でお子さまの指や手足を挟んだり、ベビーカーが身体にぶつかるおそれがあります。
・ご使用前に、ベビーカーが正しく組み立てられていることを確認する。
正しく組み立てられていない場合、思わぬ事故につながるおそれがあります。

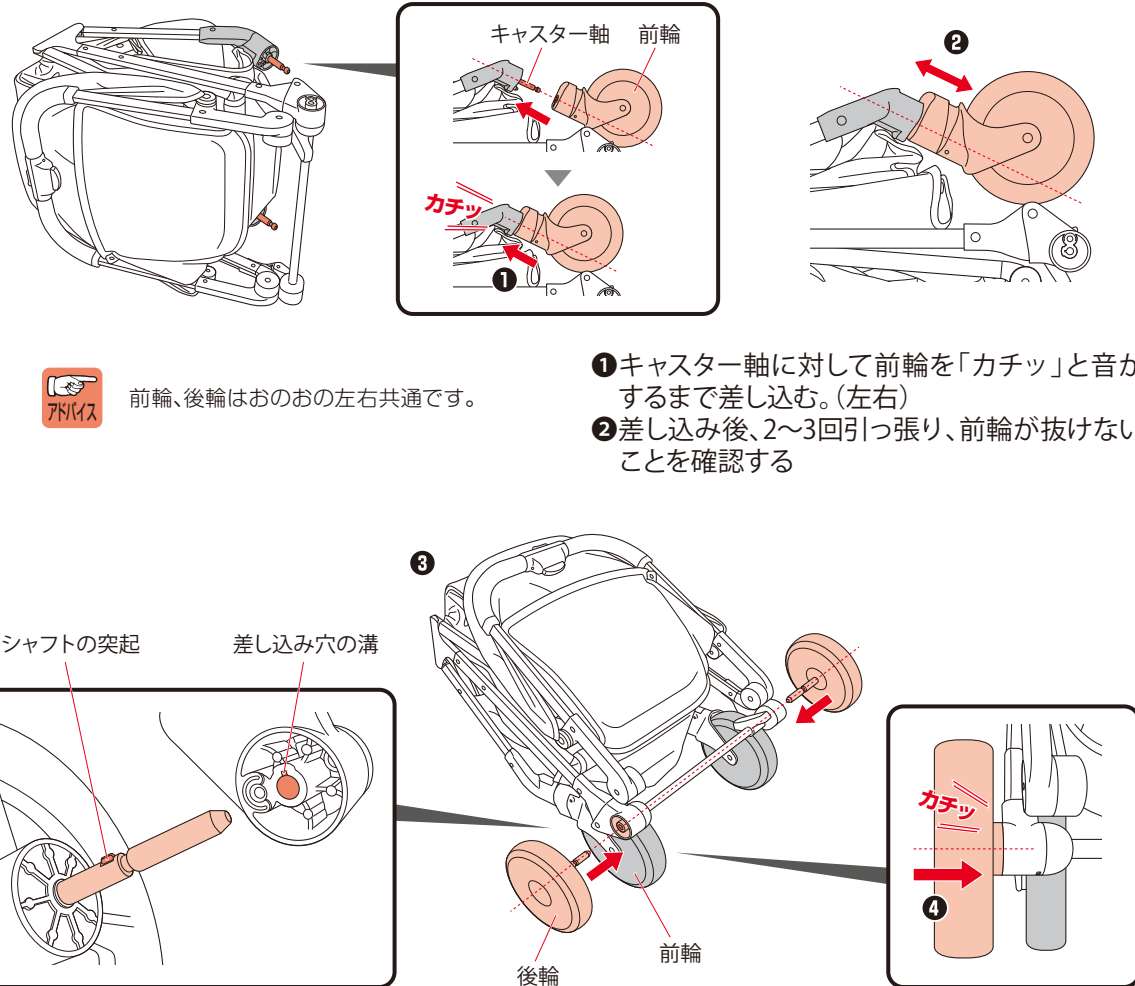


・組み立ては、床や製品を保護するものを敷いて行ってください。床や製品を傷つけるおそれがあります。

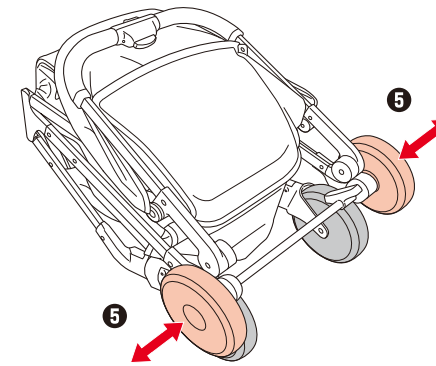
・箱から取り出した時は折りたたんだ状態、前輪、後輪、フロントガードが取り外された状態になっています。
前輪と後輪すべてを本体に正しく取り付けから、使用を開始してください。

前輪・後輪の取り付け方

・段ボールなどの上に、側面を下にして本体を置いた状態で組み立てを行ってください。



前輪、後輪はおのの左右共通です。



⑤ 差し込み後、2~3回引っ張り、後輪が抜けないことを確認する。

・組み立て後、前輪、後輪は取り外さないでください。

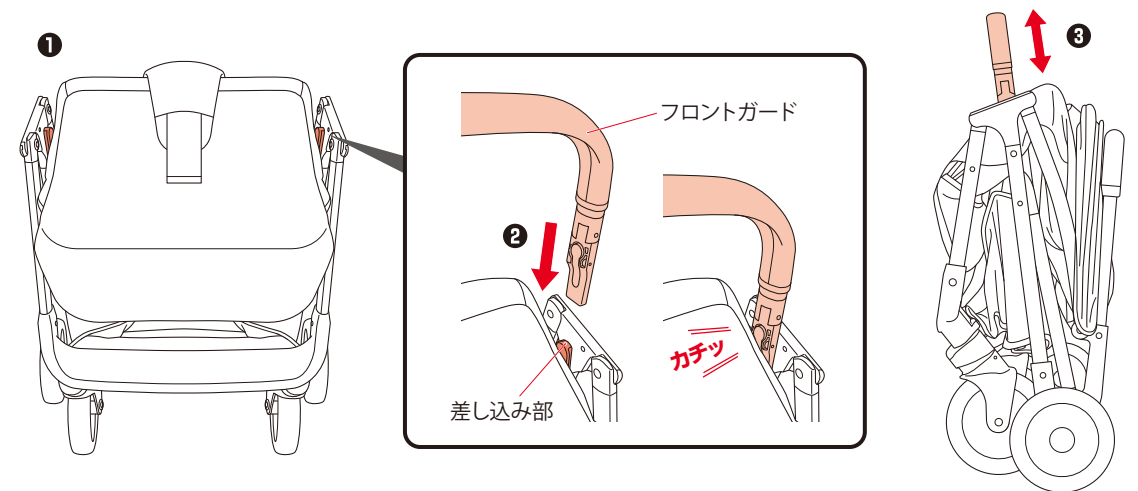


・前輪、後輪は左右とも確実に取り付け、取り付け後に引っ張って抜けないことを確認すること。
取り付けが不完全な場合、車輪が外れ、転倒など思わぬ事故につながるおそれがあります。



・組み立て後の前輪、後輪を無理に外そうとしない。破損などのおそれがあります。

フロントガードの取り付け方(本体を折りたたんだ状態での取り付け)



① 車体を立てる。
② フロントガード両端の差し込み部に向かって「カチッ」と音がするまで差し込む。(左右)
・フロントガードにあるロゴの向きを上下確認の上、差し込んでください。
③ 2~3回引っ張り、確実に取り付けられていることを確認する。

・フロントガードは本体を開いた状態でも取り付け可能です。フロントガードの詳しい使い方はP12参照。

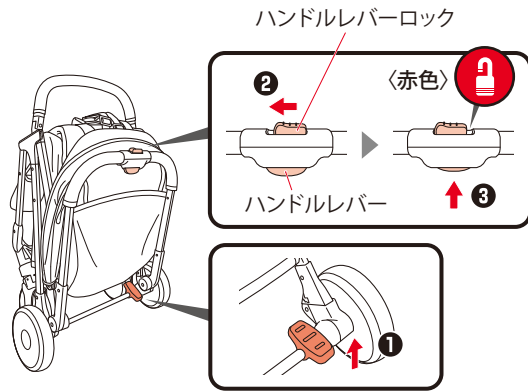
ベビーカーの開き方



・開閉操作は、お子さまが接触した状態や近くにいる時には行わない。可動部でお子さまの指や手足を挟んだり、ベビーカーが身体にぶつかるなどしてけがをすることがあります。
 ・お子さまにベビーカーを操作させない。転倒や思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

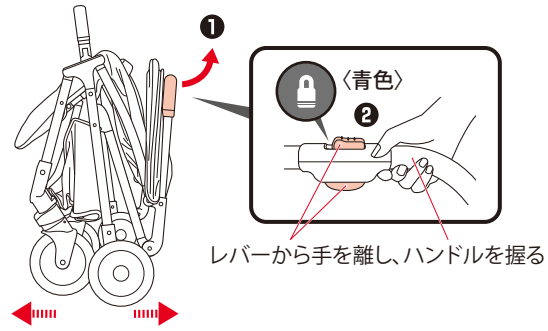
お願い ・梱包の関係上、最初はスムーズに開閉しない場合があります。2~3回繰り返して操作してください。

1 開く前に



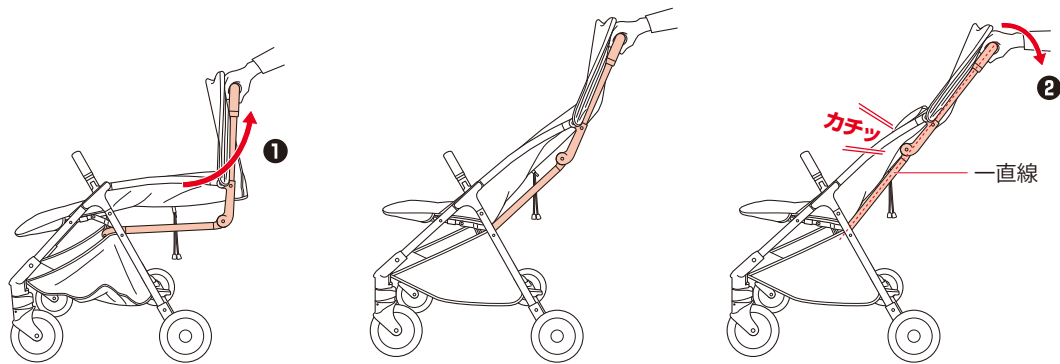
- 1 ストッパーをロック解除する。(P11参照)
- 2 ハンドルレバーロックを矢印の方向へスライドさせた状態で、(赤色が表示されます。)
- 3 ハンドルレバーを強く握る。

2 開く



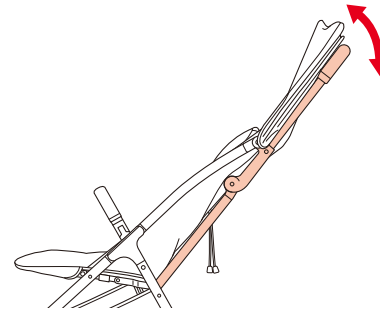
- 1 そのままハンドルを軽く持ち上げ、車体を少し開く。
- 2 ハンドルレバーとハンドルレバーロックから手を離してレバーの脇に手をずらしハンドルを握る。レバーから手を離すと、ハンドルレバーロックが自動でスライドして戻ります。(青色が表示されます。)

3 車体のロック



- 1 そのままハンドルを持ち上げ、
- 2 フレームが一直線になるくらいまで引き上げたのち、下向きに弧を描くように動かして、ハンドルをロックさせます。

4 ロックの確認

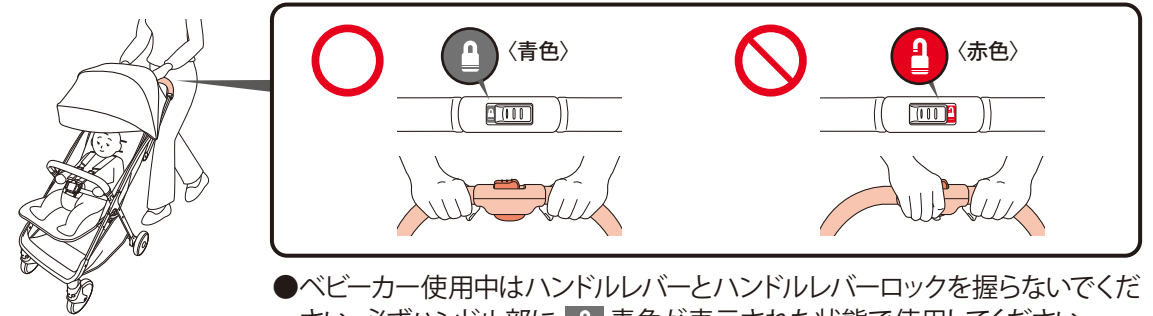


- ハンドルを2~3回上下に動かし、ベビーカーが折りたたまれないこと(完全に開いていること)を確認する。



・ベビーカーを開いた後は必ずハンドルを上下に動かし、ベビーカーが折りたたまれないことを確認すること。
 使用中にベビーカーが折りたたまれ、お子さまが落ちたり、挟まれるおそれがあります。

ベビーカー使用中は



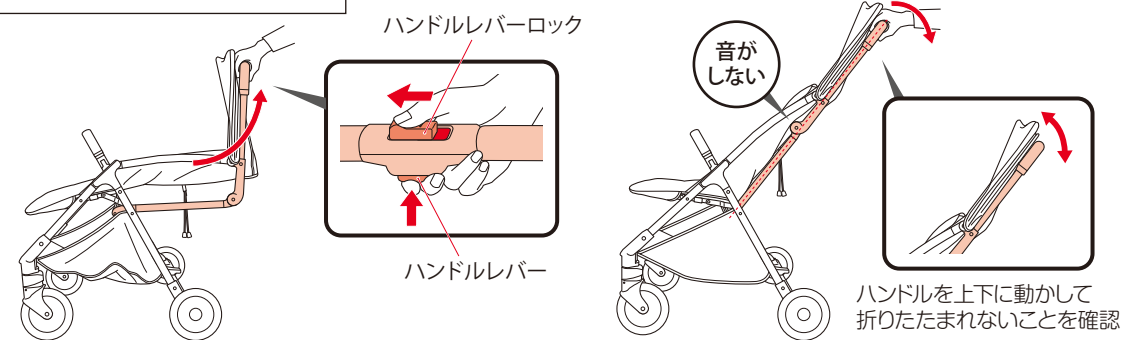
- ベビーカー使用中はハンドルレバーとハンドルレバーロックを握らないください。必ずハンドル部に 青色が表示された状態で使用してください。



・ベビーカー使用中はハンドルレバーとハンドルレバーロックを握らない。必ずハンドル部に 青色が表示された状態でベビーカーを走行させること。
 ベビーカーが折りたたまれ、お子さまが落ちたり、挟まれるおそれがあります。



開閉ロックについてご注意



ハンドルレバーとハンドルレバーロックから手を離さず、握ったままハンドルを引き上げた場合、前ページの3「車体のロック」の②で「カチッ」と音がしない場合があります。必ず、4「ロックの確認」のようにしてベビーカーが折りたたまれないことを確認してください。

ストッパーの使い方



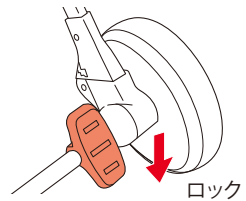
- ・お子さまを乗せる時や降ろす時は必ずストッパーをロックすること。
- ・お子さまを乗せた時には、ストッパーを過信しない。路面の状態、構造の機能上、耐久性などから、絶対に動かないようにできるものではありません。
- ・ストッパーをロックしていても、お子さまを乗せたままベビーカーから離れない。



・お子さまを乗せていない時でも、ベビーカーから離れる場合は、ストッパーをロックしてください。

・ストッパーを操作することで、左右両方の後輪をロック/ロック解除することができます。

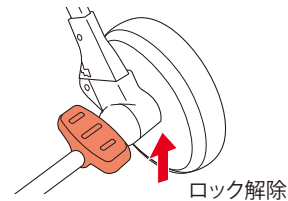
〈ストッパーをロックする場合〉



ロック

- ①ストッパーを下げ、ロックする。
- ②ベビーカーを前後に動かしてストッパーのロックがかかっていることを確認する。

〈ストッパーをロック解除する場合〉



ロック解除

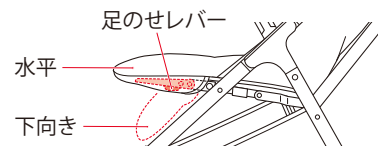
- 車輪のストッパーを上げ、ロック解除する。

足のせサポートの使い方

- ・お子さまを楽な姿勢をサポートします。
- ・水平と下向きに2段階に調節可能です。

※上向きでは使用できません。

上向きになってしまった場合は、シート内部の左右の足のせレバーをつまみながら、足のせサポートを下げてください。

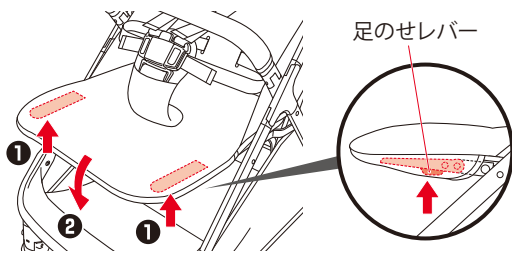


足のせレバー

水平

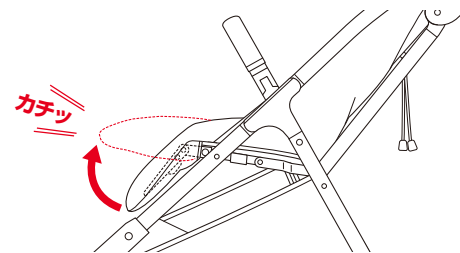
下向き

下げ方



- ①シート内部の足のせレバーをつまみながら(左右)
- ②足のせサポートを下げる。

上げ方

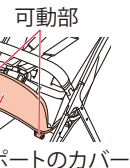


- 「カチッ」と音がして固定されるまで、足のせサポートを上げる。(下向きの場合は、固定されません。)



・足のせサポートを上向きに上げて使用しない。思わぬ事故の原因になります。

・シート先端の足のせサポートのカバーは取り外さない。足のせサポート可動部が露出して、お子さまの手足や使用者の手指を挟むおそれがあります。



足のせサポートのカバー

フロントガードの使い方

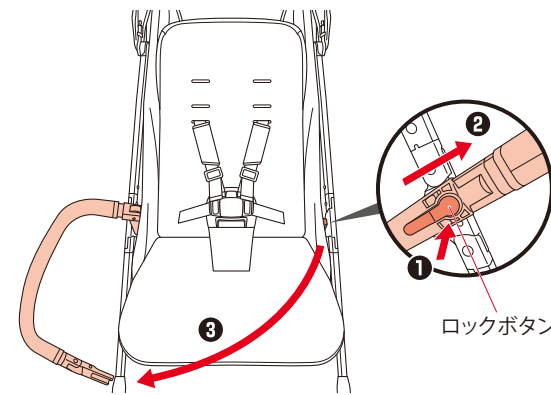


- ・開いた状態のフロントガードを振り回したりしない。お子さまにフロントガードが当たり、けがをすることがあります。
- ・フロントガードを閉じる時は、お子さまの指や手足を挟まないようにすること。
- ・フロントガードを持って、お子さまを乗せたままのベビーカーを持ち上げたり、引っ張ったりしない。
- ・フロントガードを取り付けた後は、引っ張り、左右ともロックされていることを確認する。
- ・フロントガードの有無に関わらず、お子さまを乗せる時には必ずシートベルトを締める。

- ・フロントガードを開くと、お子さまの乗せ降ろしがしやすくなります。
- ・フロントガードを本体から取り外した状態でもご使用いただけます。

開き方

- ・フロントガードは左右どちらでも開くことができます。

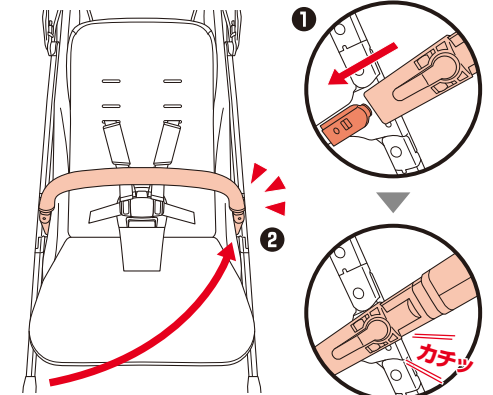


ロックボタン

- ①フロントガード内側のロックボタンを押しながら、
- ②フロントガードを上方に引き抜く。
- ③フロントガード端部を手で持ったまま、ゆっくり下に降ろす。

閉じ方(取り付け方)

- ・取り付ける場合は、フロントガードにあるロゴの上下向きを確認の上、左右両端とも確実に差し込んでください。



- ①フロントガード端部を持ち、「カチッ」と音がするまで差し込む。
- ②軽く引っ張り、ロックされていることを確認する。

カゴの使い方

- カゴの上部から荷物の出し入れをする。
- ・カゴは本体から取り外すことはできません。無理に取り外そうとすると、再び取り付けることができなくなります。カゴの側面、裏面のホックも外さないでください。



荷物はできるだけカゴ底に均等に荷重が加わるように載せてください。

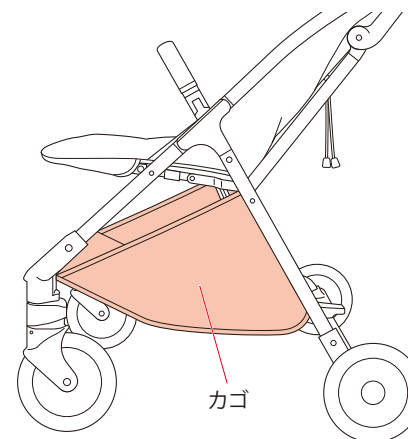


・カゴには鋭利な形状をした物を入れない。カゴが損傷することがあります。

・重量5kg以上の荷物を入れない。

・ベビーカーを折りたたむ時は荷物を取り出す。

・カゴには貴重品などを入れない。



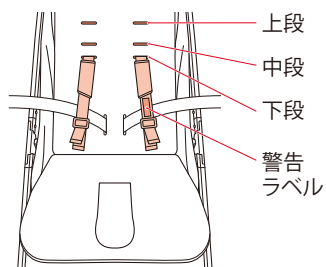
カゴ

肩ベルトの高さ調節

警告 お子さまの成長に合わせて肩ベルトの高さを調節してください。

〈肩ベルト位置〉

・箱から取り出した状態では、下段にセットされています。



〈肩ベルトの目安〉

・肩の位置より下段に通す。



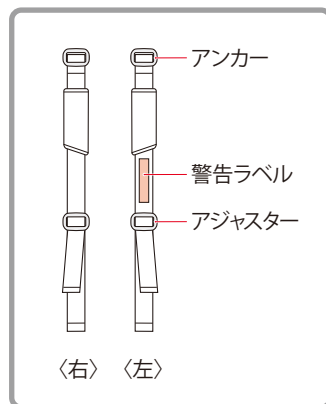
・肩ベルトの位置は以下の3段階に調節してください。

月齢の目安	肩ベルト通し穴位置
24カ月～48カ月	上段
12カ月～24カ月	中段
6カ月～12カ月	下段

※上記表示は目安であり個人差があります。

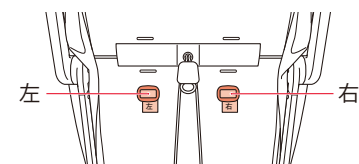
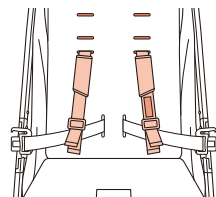
肩ベルトの高さ調節のしかた

・シートベルトのバックルを解除して、肩と腰のベルトを分離しておきます。



確認ポイント

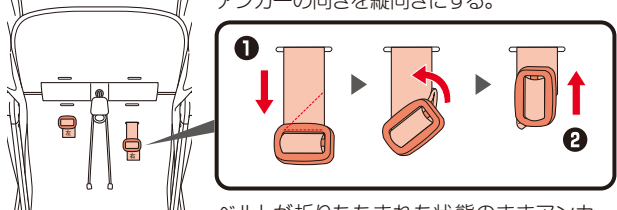
〈ベビーカー背面〉



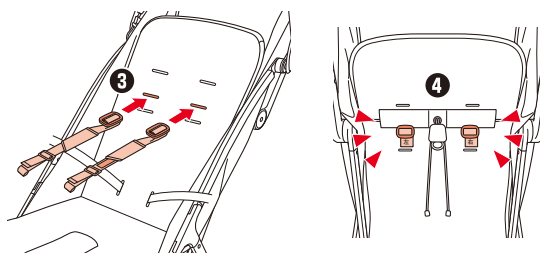
・左右の肩ベルトは同じ高さに。
・警告ラベルが表に来る。
・肩ベルトがねじれていないこと。

・背面から見て左側に「左」、右側に「右」のラベルの付いた肩ベルトが通っている。

アンカー根元で斜めにベルトを折りたたんでアンカーの向きを縦向きにする。



ベルトが折りたたまれた状態のままアンカーとベルトをしっかり持って通し穴に通す。



1 通し穴に対して肩ベルトのアンカーを図のような向きになるようにベルトを折りたたむ。
2 そのまま通し穴にアンカーを通して、穴の反対側からアンカーを引き出す。

3 使用する高さの通し穴にアンカーを通して、背面側に引き出す。
4 肩ベルトを2～3回引っ張り、肩ベルトが外れないことを確認する。

アドバイス アンカーの半分ほどが穴を通ったら、反対側からアンカーとベルトの縫い目部分をしっかり持って引き出すと通しやすくなります。(P24「困った時」も参照ください。)

シートベルトの使い方

バックルについて

・本製品のシートベルトのバックル(股バックルおよび腰バックル)には、マグネットが使用されています。

警告

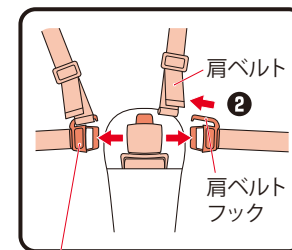
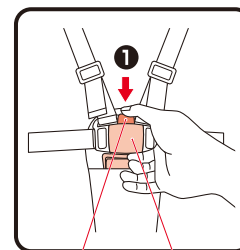
バックルのマグネットがペースメーカーの作動に影響を及ぼすおそれがあります。

・ペースメーカーをご使用のお子さまを本製品に乗せないでください。
・ペースメーカーをご使用の方がベビーカーを操作される場合は、ペースメーカーの植込み部位をバックルに近づけないでください。

注意

・クレジットカードなど、マグネットの影響を受ける可能性のあるものをバックル付近に近づけないでください。
・シートベルトを外した状態でベビーカーを折りたたんだり、ベビーカーを放置したりしないでください。バックルが破損したり、バックルのマグネット部分に異物が付着し確実にロックできなくなったりするおそれがあります。

シートベルトの外し方



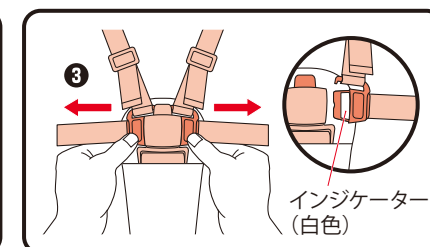
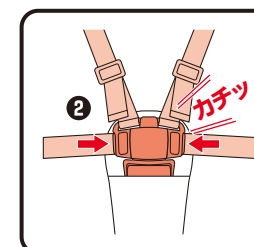
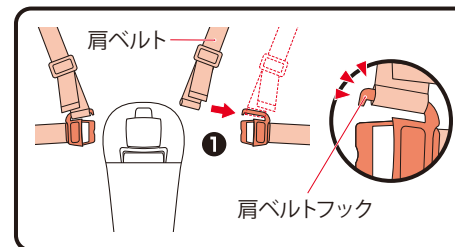
解除ボタン 股バックル 腰バックル

1 股バックルの解除ボタンを押し、腰バックルを外す。(左右の腰バックルが同時に外れます。)
2 肩ベルトを肩ベルトフックから抜く。(左右)

アドバイス

・股バックルの解除ボタンはお子さまが容易に操作できない強さに設定されています。シートベルトを外す際は、解除ボタンを最後までしっかり押し込んでください。
・お子さまを乗せ降ろしする際に、必ずしも肩ベルトを肩ベルトフックから抜く必要はありません。

シートベルトの締め方(バックルのとめ方)

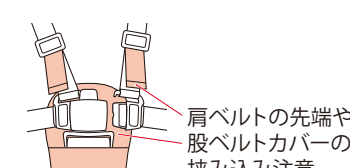
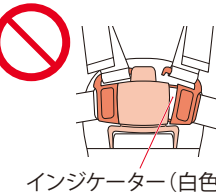


1 肩ベルトを肩ベルトフックに差し込む。(左右)
・肩ベルトフックの奥まで完全に通してください。
2 腰バックルを股バックルに差し込む。(左右)
(マグネットで腰バックルが引き込まれ、「カチッ」と音がしてロックします。)

3 腰バックルのインジケーター(白色)が見えていないことを確認した上で、左右の腰バックルを引っ張って外れないことを確認する。

注意

・インジケーター(白色)が見えている場合は完全にロックされていません。ベルトや布の挟み込み、異物の付着がないかを確認して差し込み直してください。
・肩ベルトフックと股バックルの間に肩ベルトの端部を挟み込まないようご注意ください。

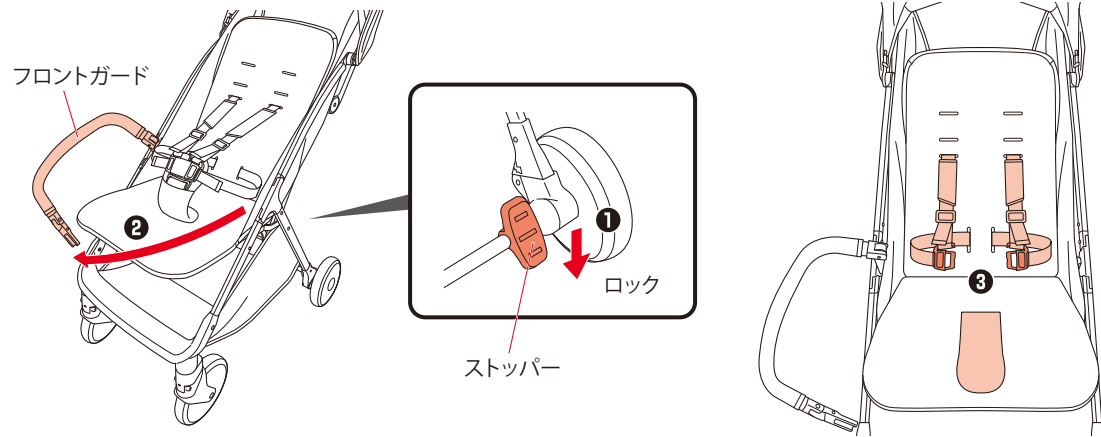


インジケーター(白色)

肩ベルトの先端や股ベルトカバーの挟み込み注意

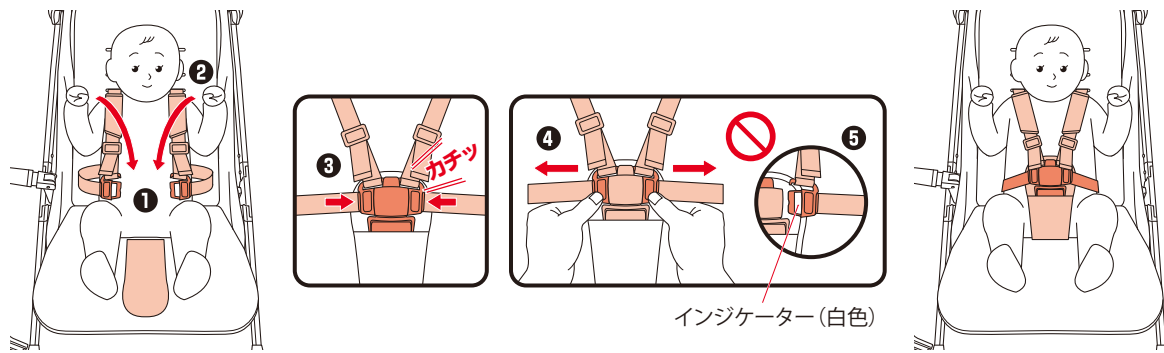
お子さまの乗せ方

1 準備



- ① ストッパーをロックする。
- ② フロントガードを開く。(P12参照)
- ③ 股バックルの解除ボタンを押し、腰バックルを外す。

2 お子さまを乗せる



- ① お子さまの股間を股ベルトの位置に合わせて乗せる。
- ② お子さまの腕を肩ベルトに通す。
- ③ バックルをとめる。
- ④ 左右の腰バックルを引っ張って外れないことを確認する。
- ⑤ 腰バックルのインジケーター(白色)が見えていないことを確認する。

アドバイス
 ・肩ベルトは装着時に警告ラベルが表に来るようにして使用してください。
 ・肩ベルトがねじれていないか確認してください。

警告

・シートベルトを締め後は、左右の腰バックルを引っ張って外れないことを確認する。締め方が不完全な場合、使用中に外れてお子さまが落ち、けがをするおそれがあります。
 ・肩ベルトは必ず肩ベルトフックに差し込んで使用すること。肩ベルトがお子さまの首に巻き付き窒息するおそれがあります。
 ・バックルをとめる時に、お子さまの手足や衣服を挟まないように注意してください。
 ・シートベルトを締めていても、お子さまから目を離さない。お子さまが立ち上がって落ちたりするおそれや、予期せぬ行動が思わぬ事故につながるおそれがあります。
 ・お子さまの股間を股ベルトの位置に合わせて乗せること。頭側に寄りすぎるとベビーカーが後方に転倒するおそれがあります。

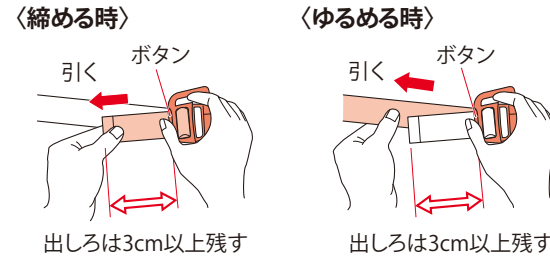
警告

・お子さまだけでベビーカーに乗り降りさせない。お子さまが自分でベビーカーに乗り込む場合は、必ず保護者の方がベビーカーを支えた状態で行うこと。転倒のおそれがあります。



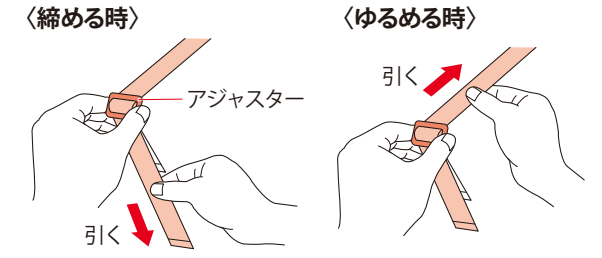
3 ベルトの調節

腰ベルト



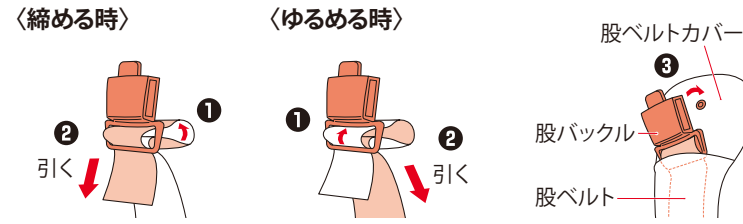
● ボタンを押しながらベルトを引き、長さを調節する。

肩ベルト



● アジャスターを持ち、アジャスターに対してやや斜め方向(矢印方向)にベルトを引き、長さを調節する。

股ベルト



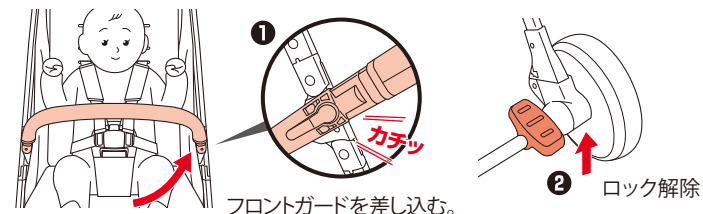
- ① ベルトを矢印の方向に送り、
- ② ベルトを引き、長さを調節する。
- ③ ベルトの調節後、股バックル裏のフックを股ベルトカバーにとめる。



警告

・肩ベルト、腰ベルト、股ベルトはお子さまの成長に合わせて調節すること。
 ・肩ベルト、腰ベルト、股ベルトがゆるい場合は、締めていても立ち上がり、お子さまが落下するおそれがあります。
 ・腰ベルトの末端の出しろ(⇔部分)は必ず3cm以上残す。
 ・リクライニングの角度を調節するたびに、肩ベルト、腰ベルト、股ベルトの長さを調節する。

4 最後に

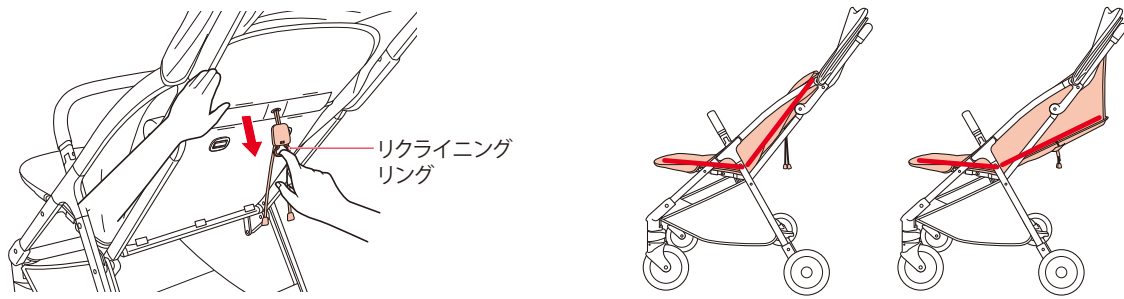


- ① フロントガードを閉じる。
- ② ストッパーをロック解除する。

リクライニングの角度調節

背もたれを倒す時

・肩ベルトをゆるめる。(P16参照)

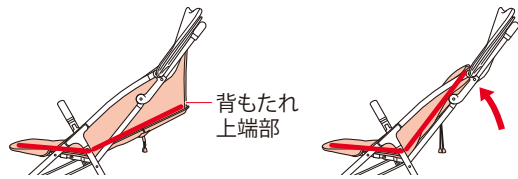


①片方のお子さまを支えて、リクライニングリングを引く。

②リクライニングリングを引ながら背もたれを倒し、角度を調節する。

・リクライニング調節後、肩ベルト、腰ベルト、股ベルトの長さを調節する。(P16参照)

〈お子さまの頭が背もたれ上端部より上まで来るようになったら〉



●お子さまが無理な姿勢にならないよう、リクライニング角度を起こしてご使用ください。

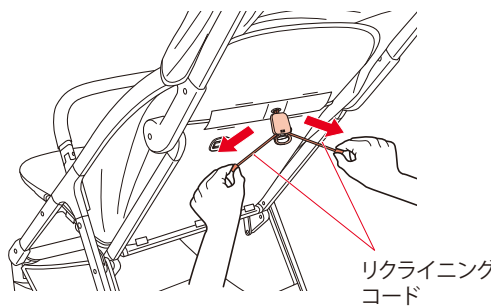


・リクライニングの調節は、平坦で安定した場所で、ベビーカーを停止した状態で行う。
 ・お子さまを乗せた状態で背もたれを倒す時は肩ベルトをゆるめてから行う。
 ・リクライニングの調節後は、肩ベルト、腰ベルト、股ベルトの長さを調節する。肩ベルトや腰ベルト、股ベルトがゆるい場合は、締めていても立ち上がり、お子さまが落下するおそれがあります。



・お子さまを乗せたままリクライニング調節をする時は、お子さまの体重を支え、急に角度が変わらないように注意する。

背もたれを起こす時



●お子さまの体重が背もたれにかかっていない状態で、リクライニングコードを左右に引く。
 ・リクライニングコードは片側ずつ引かず、左右同時に引いてください。



・リクライニングコードを過度に引きすぎない。本体や部品が変形したり、破損するなどして思わぬ事故の原因になるおそれがあります。



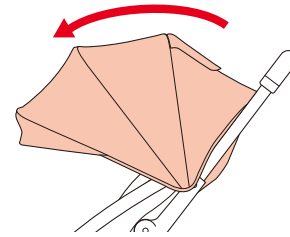
お子さまの体重を背もたれにかけた状態では、起こすことができません。

日除けの使い方



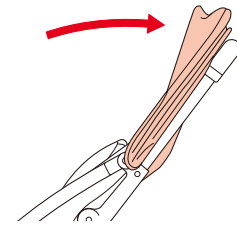
・日除けを開いたり折りたたんだりする時は、お子さまが接触した状態では行わない。可動部でお子さまの指や手を挟むおそれがあります。

開き方



●日除けを前方に開く。

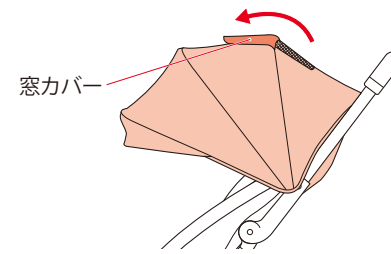
閉じ方



●日除けを閉じる。

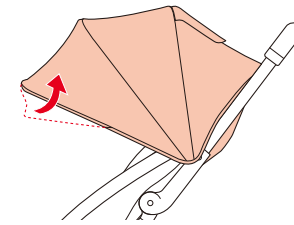
窓カバーの使い方

・窓カバーを開けると、お子さまの様子を見ることができます。



日除け先端の収納方法

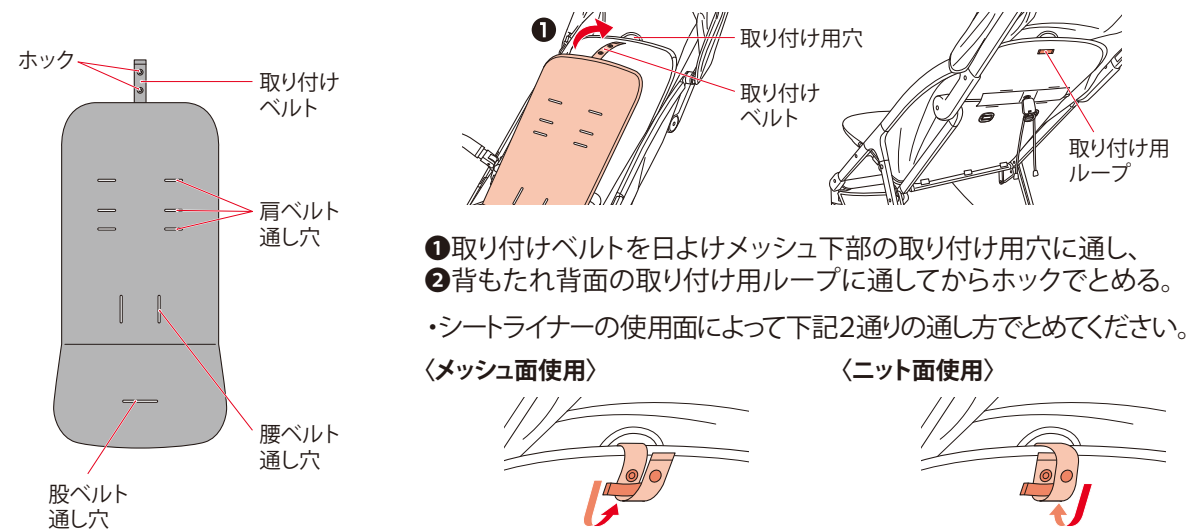
・お好みに合わせて日除け先端部分を収納してご使用いただけます。



●日除け先端部を日除け内側に折りたたむ。

シートライナー(別売)の使い方

・別売のシートライナーをご使用の場合は下記のように取り付けてください。



①取り付けベルトを日よけメッシュ下部の取り付け用穴に通し、
 ②背もたれ背面の取り付け用ループに通してからフックでとめる。

・シートライナーの使用面によって下記2通りの通し方とめてください。

〈メッシュ面使用〉

〈ニット面使用〉

③肩ベルト、腰ベルト、股ベルトを通して使用する。

ベビーカーの折りたたみ方



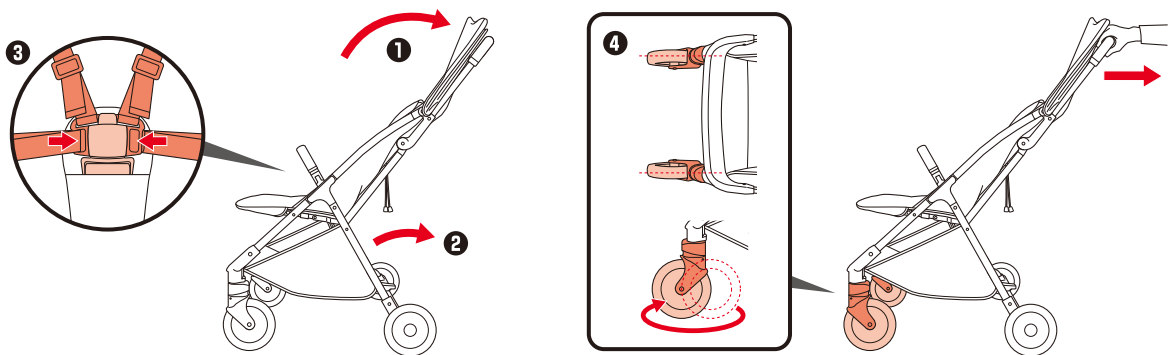
・開閉操作は、お子さまが接触した状態や近くにいる時には行わない。可動部でお子さまの指や手足を挟んだり、ベビーカーが身体にぶつかるなどしてけがをすることがあります。
・お子さまにベビーカーを操作させない。転倒や思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



・シートベルトのバックルをとめてからベビーカーを折りたたむこと。シートベルトが開閉ロック部分に挟まってベビーカーが折りたためなくなったり、バックル破損やバックルのマグネット部分への異物の付着のおそれがあります。

お願い ・梱包の関係上、最初はスムーズに開閉しない場合があります。2~3回繰り返して操作してください。

1 折りたたむ前に

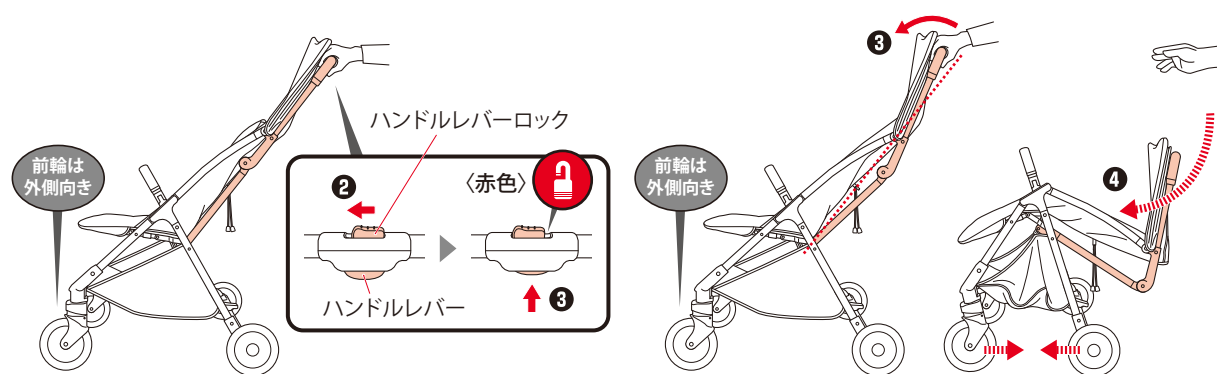


- ①日除けを閉じる。
- ②カゴから荷物を取り出す。
- ③シートベルトのバックルをとめる。

- ④車体をまっすぐ後ろに引き、前輪が外側に向くようにする。

アドバイス 前輪が外側を向いていないと折りたたみ後に車体が転倒する場合があります。

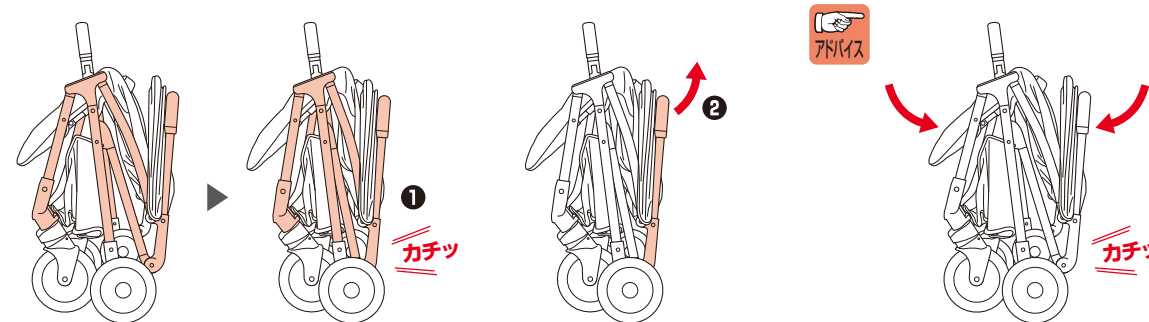
2 ロックの解除と折りたたみ



- ①ハンドルレバーロックを矢印の方向へスライドさせた状態で、(**赤色** が表示されます。)
- ②ハンドルレバーを強く握る。

- ③握ったまま、軽くハンドルを前に倒す。
・開閉ロックが解除されます。
- ④ハンドルから手を離す。
・車体が自然に折りたたまれていきます。

3 折りたたみロックとロックの確認

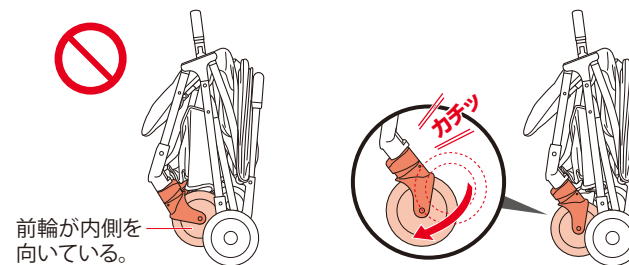


- ①最後まで折りたたまれると、「カチッ」と音がして、ロックされます。
- ②軽くハンドルを持ち上げて、車体が開いていないことを確認してください。

車体が開いてしまう場合は、矢印の方向に押し込み、ロックさせてください。

前輪の向きに注意

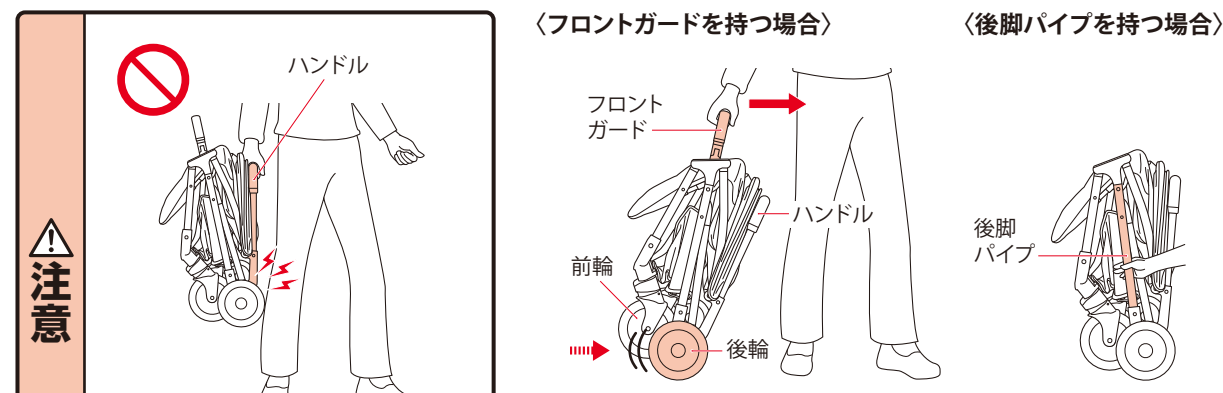
・前輪が内側を向いた状態で折りたたまれてしまった場合、ベビーカーが自立しません。



・その場合は、外側に向くように前輪を動かしてください。
・前輪が外側を向くと、「カチッ」と音がして、前輪キャスターが軽くロックされます。

折りたたんだ後に

・折りたたんだ後にベビーカーを運ぶ場合は、フロントガードか後脚パイプのどちらかを持ってください。



・ハンドルを持って持ち運ばないでください。開閉ロックが破損するおそれがあります。

〈フロントガードを持つ場合〉

〈後脚パイプを持つ場合〉

・フロントガード使用時、車輪を地面につけて引っ張る場合は、後輪を地面につけ、フロントガードを持ってハンドル側から引いてください。
・前輪を地面につけて引っ張らないでください。前輪キャスターの向きが変わり故障の原因になります。

縫製品の洗浄方法

〈股ベルトカバー、肩ベルトカバーの洗浄について〉



※洗濯ネット使用、ねじり又は絞り禁止

※洗浄時は、お使いの洗濯機のメーカーや設定によっても異なりますが、しっかり洗うコースなど強い洗濯のコースを避けて、標準やデリケートなどのコースを選んでください。



注意

- ・縫製品を屋外で干す時は、日陰の平干しにしてください。
- ・アルカリ性洗剤、酸性洗剤、塩素系漂白剤を使用しないでください。

〈シート、日除け、肩ベルト、腰ベルト、股ベルト、カゴの洗浄について〉

- ・丸洗いせずに、以下の要領で洗浄してください。
- ・シートの縫製品、腰ベルト、股ベルト、カゴは取りはずすことはできません。

●水溶性の汚れ(果汁、ヨダレ、オシッコなど)の場合

40℃前後の湯にタオルを浸し、軽く絞って汚れた所を十分に洗います。その後、乾いたタオルなどで十分に水分を取って日陰で乾燥させます。

●非水溶性の汚れ(牛乳、油脂、マヨネーズなど)の場合

中性洗剤を40℃前後の湯に溶かし、汚れた所をブラシまたはスポンジで軽く洗います。その後、冷水又は温水で中性洗剤を洗い流し、乾いたタオルなどで十分に水分を取って、日陰で乾燥させます。



注意

- ・縫製品に破損・異常が発生した場合、又は発見した場合は、そのまま使用せず、弊社お客様サポートセンターまでお問い合わせください。

車体のお手入れ

〈フレームや車輪のお手入れについて〉

- ・フレームやバックル、車輪についた砂や泥、ホコリなどは、そのまま放置しないで必ずよく絞ったぬれタオルなどを使用して拭き取ってください。
- ・腰バックルの表面に砂鉄などの異物が付着した場合は、粘着テープなどを使用すると取り除きやすくなります。



注意

- ・フレームや車輪に砂や泥、ホコリが付いたまま使用しないでください。スライド部に砂などが入り、開閉できなくなります。
- ・泥、ほこりなどの拭き取りには、シンナー、ベンジンなどの揮発性の溶剤を使用しないでください。

- ・車輪は消耗品です。車輪交換が必要な場合は弊社お客様サポートセンターまでお問い合わせください。(車輪交換は有償)

〈ネジ・ナット類について〉

- ・ネジ、ナット類のゆるみがないか、時々点検の上、ゆるみが生じた場合は弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。(P25参照)

〈フロントガードについて〉

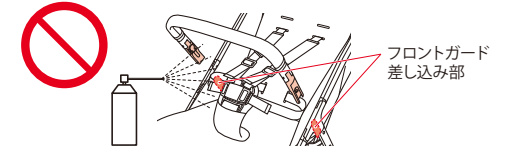
- ・フロントガードの差し込み部についたホコリなどは、そのまま放置しないで必ずよく絞ったぬれタオルなどを使用して拭き取ってください。

〈注油について〉



注意

- ・フロントガードの本体側接続部には、シリコン滑走剤などを付着させないでください。フロントガードが外れるおそれがあります。



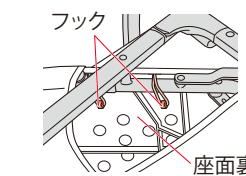
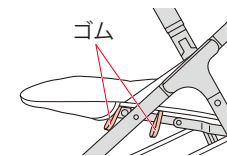
点検について

- ・定期的に製品に異常がないことを点検してください。

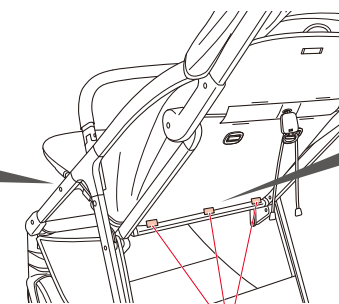
- 部品が欠落、破損、変形していないか。
- 開閉操作に支障がなく、ベビーカーを開いた時に確実に開閉ロックがかかるか。
- ストッパーに破損や変形がないか。ストッパーが確実にかかるか。
- 製品の各固定部にゆるみやきしみ音が無い。
- タイヤやキャスターがスムーズに回転するか。
- シートベルトのバックルに異物をはさまっていないか、確実にとめられるか。
- 前輪、後輪、シートベルトが正しく取り付けられているか。
- 縫製品の破れやゴムやベルトの外れ(下記参照)、ホックの外れがないか。

- ・本製品はシートの縫製品をフレームから取り外すことはできません。もし、下記位置のゴムやベルトを取り外してしまった場合や外れている場合は取り付け直してください。

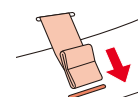
〈座面側面ゴム(2カ所)〉



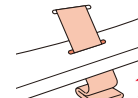
座面裏のフックにゴムをかける。



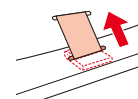
〈座面後部ベルト(3カ所)〉



ベルトを通し穴に通し、



ベルト先端を広げ、



ベルトが抜けないことを確認する。



注意

- ・製品に破損・異常が発生した場合、又は発見した場合は、そのまま使用せず、弊社お客様サポートセンターまでお問い合わせください。

保管について

- ベビーカーを折りたたみ、ポリ袋などに入れ、車体を立てた状態で直射日光のあたらない、冷暗所に保管してください。



- 火の近くに置いたり、炎天下で高温になる車中に放置しないでください。プラスチック部品が変形し、性能を維持できなくなります。
- 上に荷物を置いたり、圧力が加わるような状態で保管しないでください。故障や変形の原因となります。
- やむを得ずベビーカーを横向きに寝かせて保管する場合も、上に荷物を置いたり、車体が斜めになるような置き方をしないでください。故障や変形の原因となります。

廃棄について

- お住まいの各自治体の指示にしたがって処分してください。
- 環境保護のため、指示された場所以外には放置しないでください。

SGマーク制度について

SGマーク制度は、SGマーク付き製品の欠陥によって人身事故が発生した場合に、製品安全協会が賠償措置を行う制度です。



- ベビーカーの場合、ご購入後4年以内の製品が対象となります。
- SGマーク付き製品そのものが故障した場合に補償するものではありません。
- 人的損害(治療費等)を賠償するものであり、物的損害は賠償の対象なりません。

- お子さまの体重が18kgを超えて22kgまでのご使用については、SGマーク制度の適用対象外になります。

【製品の欠陥によって事故が起きた場合】

事故が発生した日から60日以内に製品安全協会へ連絡してください。
または、事故が起きたらすぐに製品安全協会へ連絡してください。

ご連絡は製品安全協会ホームページの「SGマーク賠償制度とは」の下部にある事故申出フォームをお使いください。

<https://www.sg-mark.org/reparation>



困った時

- 下記の対処方法で解決しない場合は、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。(P25 参照)

〈ご使用中に困った時〉

お気づきの点		対処方法
開閉	ベビーカーが開かない	シートの生地やシートベルトがフレームに挟まっていないか確認してください。 ハンドルレバーロックをスライドさせ、  赤色が表示された状態でハンドルレバーを握って開いてください。(P9参照)
	ベビーカーが折りたためない	〈折りたたむ前に〉を行ってから折りたたんでください。(P19参照) フレーム部分にシートベルトなどが挟まっていないか確認してください。
	ベビーカーが折りたたみ時に転倒してしまう	前輪が内側を向いて折りたたまれてしまった場合、ベビーカーが自立しないため転倒する場合があります。折りたたみを開始する前に、車体を後ろに引き、前輪を外側に向けた状態にしてから折りたたみを開始してください。(P19〈折りたたむ前に〉④参照)
走行・方向転換(キヤスター)	ストッパーがきかない	ストッパー部に石などが挟まっていないか確認してください。
リクライニング	背もたれが起こせない	お子さまをベビーカーからおろして、リクライニングコードを引いてください。(P17参照)
シートベルト	バックルがとめられない	衣類などの生地やシートベルトがバックルに挟まっていたり、異物がバックルに付着していないか確認してください。
	肩ベルトの高さ調節がうまく出来ない	右のQRコードより、肩ベルト高さ調節の説明をご確認いただけます。 
保管	ベビーカーが自立しない(折りたたみ時)	前輪の向きを外側を向くように動かしてください。外側を向けると「カチッ」と音がして前輪キヤスターが軽くロックされます。その状態でベビーカーを自立させてください。
保守	タイヤが消耗した	タイヤが消耗し、走行に異常を感じた時はタイヤの交換が必要な場合があります。弊社お客様サポートセンターに連絡してください。(P25参照)
	前輪キヤスターや後輪を取り外してしまった	〈前輪キヤスター〉: P7の通りにキヤスター軸に対して前輪を差し込み、必ず2~3回引っ張って外れないことを確認してから使用してください。 〈後輪〉: P7~8の通りに後輪を差し込んだ後、必ず2~3回引っ張って外れないことを確認してから使用してください。

〈再利用する時〉

お気づきの点	対処方法
前の使用者がどのような使い方をしていたのかわからない時は	使用状態が不明な商品をご使用になるのはお勧めできません。
ベビーカーにクラック(ひび割れ)や大きな傷がある時は	ご使用になれません。

保証とアフターサービスについて

◎保証について

- 保証期間中（購入日より1年間です。）に部品の欠品、不良加工など弊社の責任によるもの、取扱説明書や注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、保証規定にもとづき無償修理を致します。故障の箇所によっては、修理できない場合がございます。
ただし、ご購入日より3年以上経過した製品についての修理はいたしますが、製品の修理箇所以外の品質の保証はいたしかねます。（修理箇所の保証期間は1カ月です。）
また、製造中止後の製品については、修理必要部品の在庫がなくなった場合、修理が出来ないこともあります。（部品の保有期間は、製造中止後3年間です。ただし、3年以内であっても部品の色、柄などについては、ご希望に添えない場合があります。）

◎アフターサービスについて

- ご使用中に故障などが発生したり、点検中に発見した場合、部品の交換または修理の必要が生じた場合、各部の固定部などにゆるみやきしみ音があったり、部品の欠落、車輪の回転の円滑さに異常がある場合、及びその他異常を感じた場合は、ご使用を中止し製品名・品番・ロット番号（下図参照）をご確認のうえ、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。

- お問い合わせの際に、スムーズな対応が行えますよう、下記の位置に貼ってあるシールの品名・品番・ロット番号を必ずお伝えください。



お買い上げ時レシート
貼り付け位置

- お問い合わせの際に、スムーズな対応が行えますよう、ベビーカーお買い上げ時のレシート（領収書）を貼り付けてください。

アフターサービスについての連絡先

ニューウェルブランズ・ジャパン合同会社

〈電話連絡先〉

ベビー事業部 お客様サポートセンター TEL 0120-415-814

携帯電話からご利用の場合（通話料お客様負担） TEL 0570-004-155

受付時間:AM10:00~PM5:00(土、日、祝日、弊社所定休日を除く)